

意見交換会報告書

意見交換会の議題	大和市の街づくりに関すること
意見交換会の相手先 (団体名等)	大和市商工会議所建設業部会
参加人数	27名
開催日時	平成28年8月10日(水)午後3時00分～午後5時00分
開催場所	大和市議会 全員協議会室
担当議員	座長：鳥淵 優 司会者：井上 貢 記録者：佐藤 大地 出席者：国兼 久子、吉澤 弘、赤嶺 太一、菊地 弘
要点等	別紙のとおり

大和市議会議長様

平成28年11月21日

大和市議会意見交換会実施要領第8条の規定により提出します。

意見交換会座長 鳥淵 優

平成28年8月10日

日程1. 挨拶

菊地弘 議長：

こんにちは。11月3日に文化創造拠点が開業する。オープンにあたっては、周辺をどれだけ活性化していくか、新しいお客様が大和駅から芸術文化ホールに来る。第4地区周辺整備をどうするか。商工会議所が移転されたが、やまと公園周辺の跡地をどうするかを並行して考えていく必要がある。意見交換を通じて、行政に提案してもらいたい。

小幡 大和商工会議所 建設業部会長：

まちづくりについて、役員会をひらき、「第4地区の整備について」と「やまと公園と跡地利用」の2つのテーマに絞ってきた。

2時間という時間の中で、まちづくりや大和駅前について意見を交し、交流したい。商工会議所も新会館に移った。役員・部会員が一丸となって改修にあたった。

この間、市長とも意見交換を行っており、今後も、いい街をつくる一翼を担っていききたいので、ご協力をいただきたい。

日程2. 自己紹介

(議員・商工会議所建設業部会員の順に自己紹介)

日程3. 意見交換

(1) 大和駅東側第4地区周辺の整備について
理由・背景について

小幡：

芸術文化ホールが完成し、一部テナントが開業している。全体のオープンは11月3日と聞いている。東側プロムナードの整備を行っているところ。花壇を撤去し、拡幅するという話と、インターロッキングの整備等を聞いている。綺麗になるのはいいが、なぜ、そこだけやるのかを疑問に思う。部会員を中心に、周りの商店街の活性化につながることはできないのかという声が出される。銀座通り商店街のインターロッキングも荒れ、女

性のヒールが刺さって転んでケガをされる事例も報告があり、昭和通り商店街も同じような状況。銀座通り商店街の役員会でもそんな声が出される。今日は、商店街役員を兼任された方も参加している。集約された声とともに、周辺商店街の活性化につなげられないか。

国兼：

地域から、花壇をなぜ撤去するのかという声ももらう。駅から芸術文化ホールに向かう中、あの花壇を楽しみながら歩く方もいる。高齢者にとって、あの距離を歩くことのしんどさがある。ベンチがあれば、休みながら向かうことができる。文化的なものに触れるという期待感を持てる遊歩道の整備も必要。

鳥淵 座長：

市長の所信表明でこの地域に触れている。LED照明・フラワーハンギングバスケットの設置工事が始まり、全体的な明るいイメージで整備を進める。壁画、イラストなども計画がある。あわせて、駅周辺の電柱の地中化にも触れているので、プロムナードだけでなく、全体のことを見てもらえるよう期待している。

井上：

第4地区の開発にあたって、行政サイドから説明があったのか。

小幡：

具体的な説明はなかったが、11月のオープニングイベントに向けて、東西10商店街の会長会に対して、イベントをやってほしいという要請があった。

東側プロムナードは、整備が済むとイベントで使えなくなるような噂もあって、骨董市や阿波おどりを危惧する声もささやかれている。商店街や市民の協力がなければ、活性化できない。また、生涯学習センターの利用料金も現在より高いと聞い

平成28年8月10日

ている。本当に文化芸術に寄与するのか、活性化につながるのかという思いがある。

岸：

花壇や木の撤去など自然のものがなくなる。また、日陰もなくなる。緑がなくなるのは寂しい。YAMATO文化森の正面も骨董市の会場になっていて、あそこは使わせないという話を市から聞いているが、どう考えているのか。市民・地域の方ときちんと話をしてほしい。相鉄ローゼンがホンダ跡地にできるとか、駐車場をつくるとか、そういった噂ばかり流れる。全体を見通す「絵」が伝わらず、いきなり「これができる」という結果だけが届けられるような状況。

井上：

今後、相鉄をはじめ、どういう街をつくるビジョンをつくるかという情報は早急に出せるよう、行政に要望を出す。

吉澤：

花壇の撤去では、悲しい・寂しい思いをお持ちの方がいる。私達自身知らなかったこともある。噂が飛び交っていることは認識している。全員が一丸となって、大和のまちづくりを良くしていこうという思いにならないと意味が無い。この意見交換会でお聞きした声を行政に届け、お互いが、心地よく活性化につなげられるようにしていきたい。

国兼：

常任委員会でも質問したが、商店街の店舗はプロムナードに背を向けた形になっている。一体感がない。YAMATO文化森と駅の往復では活性化につながらない。商店街を回遊できる仕掛けをつくっていく必要がある。

佐藤：

インターロッキングがデコボコしている。高齢

化も進んで、歩きづらくなっていたり、車いすや杖の利用も増える。安心して歩ける環境をつくっていく必要がある。商店街とプロムナードの関係も、相鉄が地下に潜ったことで、今の状況になっている。商店街と市と力をあわせて、改めて街をつくっていく取り組みを始めなければいけない。コンパクトシティ、国と市との関係でもまちづくりが進められる。意見をぶつけあいながら、みんなで街を作っていく取り組みが必要。今日をスタートにする気持ちで取り組みたい。

小幡：

YAMATO文化森ができることを歓迎している。商店街の活性化もどうするか商店街なりに考えている。しかし、商店街自身も力がなくなってきた。駅とYAMATO文化森をつなぐ線がプロムナードだけでは、街の活性化もYAMATO文化森の活性化にもならない。

銀座通りと天満宮通りの信号をなくすような話もあった。商店街を抜けて、YAMATO文化森に渡るすべがなくなったら、事故になる。地域や商店街の声を聞いてほしい。

プロムナードも広く、歩くには困らない。花をめぐる余裕のない人ばかりではない。なぜ花壇をなくしてしまうのか。検討できるなら、検討してほしい。点や線で物事を考えるのではなく、大和駅全体という面で考えていきたい。

長嶺：

中央通り商店街の会長もしている。この間、歩道整備が進められている。都市計画決定が昭和40年前後。だいぶ拡幅が進められたが、ミスタードーナツや三井住友銀行の前の区間が進まない。何度も説明をもらっているが、延長延長が続いている。その一方で、睦会商店街のところの工事が急に始まった。寝耳に水。睦会商店街は手をつけないという話だった。計画があれば、5年後10年後のイメージができるが、突然ポンと事業が現れる印象。腑に落ちない。タクシー乗り場の移設

平成28年8月10日

も突発的に進んだ印象。駅前の整備がそういう雰囲気で行われているように感じる。

都市計画では、建て替えてセットバックしなければいけない。工事が進まなければ、下屋を出して事業をすればいいという声も出てしまっている。きっかけがなければ、進まない。計画があれば、きちんと示してほしい。

鳥淵 座長：

一般質問等で市民からの声を行政に届けている。うわさ話について、行政に確認して、お返ししていきたい。

菊地：

3年や5年のスパンで「まちづくりをどうするかという組織」をどう作るか。本当は、YAMATO文化森の計画が始まったときに、スタートしていなければいけなかった。個別に意見が出るが、集約と決定がどこなのかわからない状況。結果、うわさ話になっている。

数年前、中心市街地活性化協議会を作る話もあったが、頓挫してしまった。そこで決まっていくという組織をつくっていかないと、市から個別に決められてしまう。3年5年というスパンで考えていく必要がある。

芸術文化ホールができることで、新しい消費が生まれる。それにどう応えていくか、調査していく必要がある。銀座通りや昭和通りなど、周辺の商店街をどうするか。容積率を上げることもひとつの武器になる。例えば横浜銀行の容積率を上げて、1階にはコーヒーショップ、2階以上は銀行というような活性化も、協議会なり専門家も入れた専門の組織が必要。まちづくりは地域から声が上がらないと難しい部分があると思う。

原：

平成11年の市街地活性化計画をみている。グランドホテル撤退の折に、駅周辺の活力再生につなげなければ、と当時の会頭と相談し、シビック

センター構想が建てられた。駅周辺が虫食い状態になるということもあり、4ヶ月かけて、調査も行った。最終的な判断は、「大和でテナントが入る状況ではない」になった。グランドホテルの状態も新建築法に対応できない。商業店舗計画で進めようと計画も出た。商工会議所の予算でプロムナード周辺18ヘクタールの調査を行った。高座渋谷駅周辺のIKOZAの開発経験もあるコンサルタントに頼んで、立派な報告書をつくった。

こういった報告書も活用して協議会なりをつくれればよかった。第4地区にあわせて、動線やプロムナードの問題、相鉄との投げかけ歩み寄りがあった。しかし、市があまり乗り気でなく、頓挫してしまい、信用できないという声もある。YAMATO文化森オープンという、チャンスを活用しないといけない。

海老名の開発が進む中で、ホテルもホールも持っていかれる。今後の開発でも大型店舗やホテルが計画され、相鉄が渋谷までの延伸が完了すれば、大和が置いていかれる印象がある。その危惧に 대응する必要がある。

YAMATO文化森のオープンで2核1モールできちんとまちづくりを進めていかなければいけない。議員にも力を借りたい。

清水：

昭和通り商店街の会長をしている。芸術文化ホールの開設は、喜んでいる。プロムナードの改修等話は聞いているが、全体のイメージがない。インターロッキングの改修の一方、花壇が撤去され、施工前に声を聞くことができなかつたのかと思う。樹木が抜かれて、ベンチがどうなるのか。日陰がなく、夏場はすごく暑い。冬場も休まれている方がいる。

もう一つは、動線がプロムナード一本になるのではないかという危惧がある。商店街のインターロッキングも経年でデコボコしてしまっている。ケガをされた方もいる。大規模改修は難しくても、計画をつくって修繕を進めて、インターロッキン

平成28年8月10日

グを守りたい。工事の通知はくるが、どういう形になるかが見えない。地元に対して、工事や計画の内容・イメージを伝えてほしい。会員からも「どうなるのか」という声は寄せられる。

菊地：

協議会の立ち上げについてはどうか。

五井野：

協議会の結成には賛成。商店街があつて、相鉄の持つる土地があつて難しい。ものや人の流れもある。プロムナードが市の土地であれば、公園にするなど対応できるが相鉄の私有地で自由にできない。海老名や相模大野、町田など、駅の周りを変えて、発展している。大和でもできなくはないと思う。プロムナードをどう活かすか。一回二回の会合では決められない。プロジェクトチームをつくる必要がある。商工会議所の移転もプロジェクトチームをつくり、6、7回の会合が行われている。有識者・市・商店街、相鉄にも参加してもらって、集約していかないとダラダラ進んでしまう。気がついたら既成事実的に街が作られてしまう。

本当は、できる前にやらなければいけない。広いメンバーを集めて、意見をぶつけていく。その中で光を見つけて、進めていくことが必要。権限がなければ意味がない。行政・相鉄・商店街が中心になって、メンバーを集めて、月1回の会議を重ねて、いいものを見つけていくことが必要。

小幡：

平成4年に立ち上げた再開発の協議会がある。その協議会に相鉄も入っていたが、企業秘密で情報が出ない。市も聞いていないで、何もわからなかった。市民はどうしていいかわからない。小田急OXの改修（高架下）も何をしているのかわからないという声が多数寄せられる。いつ終わるのか、なにをしているのか。それすらわからない。大和市が先導してまちづくりを考えないと、海老名に置いていかれる。このままでは、大和はただの乗

り降りの場所になってしまう。民間が進めている開発もあるが、行政がてこ入れして、5年10年計画でまちづくりを進めているはず。

第4地区の再開発も当初はマンションの計画で、ディベロッパーを入れたりもした。最終的には今の形になってよかったと思うが、みんなで考えて、市も考えないと商工会議所も力を尽くせない。人口は増えても、このままでは商業も工業も廃れてしまう。

鳥淵 座長：

先日郵便局もオープンし、今後11月3日に向けて、コンビニなどがオープンしていく。周辺の整備発展のために、皆さんの力を借りながら、市議会としても力を合わせて頑張っていきたい。

(2) やまと公園周辺の跡地利用について
理由・背景について

小幡：

以前、シビックセンター構想もあった。旧商工会館の土地、青少年会館の解体、法務局、保健所等の劣化。南側に建物がある関係で暗い景観となっている。やまと公園を南側にずらし、北側に建物を移設、ホテルができないかという声が多数寄せられている。ビジネスホテルではなく、会議や宴会のできるものを。行政が大和にコンベンションホールが必要と方針を示せば、ホテルも誘致できるんじゃないか。現状は、何をやるにも海老名に行かなければいけない状況。大和で済ませられないかと思っている。

鳥淵 座長：

施政方針で触れられた内容を紹介したい。芸術文化ホールのオープンを受け、現図書館・学習センターについては、市民活動・交流を支える施設に生まれ変わる。現図書館には、市民活動センターが移転し、市民活動の部室のようなものを設置、現学習センターには、外国人サロンや起業家支援施設を入れる。青少年センターも図書館に移転し、

平成28年8月10日

大和市スポーツ・よか・みどり財団や大和市国際化協会も集約されることで、横の連携が強められる。

岸：

学習センターの跡地利用について、何度か説明会があった。跡地利用について、周辺自治会から要望を出していたが、市からどうするのかという返信がなかった。連合自治会館用地を貸してほしいという要望も出し、良い返事もあったが、説明会ではそれには触れられなかった。また、地域には公園もなく、その要望も無下にされてしまった。施政方針では「市民の声を聞いて」とあるが、実際には何も反映されていない状況。地元に対して、事前の説明がない、コンタクトがない。協議会をつくっても、それが反映されなければ、意味が無い。

相鉄地下化の時からそういうことが繰り返されていて、市に対して信用がなくなっている。自治会館を作るために積み立てもしているのに、今度の総会ではそれを反故にするしかない。

鳥淵 座長：

学習センターについて、紹介したため話がそれてしまったが、本題は、やまと公園周辺施設の跡地利用についてである。

国兼：

住民説明会がアリバイ作りになってしまっているのではないかと。議員も商店街や市民に声を聞きに行く、足を運んでいく必要がある。やまと公園は利便性がよく、利用者が多い。雨の日でも遊べるログハウスなどほしいと、学習センター跡地利用の際に、声が出ていた。

原：

コンパクトシティ構想で、駅周辺に施設をまとめる施策が国を中心に進められている。やまと公園は暗く、夜になると利用者が全くいない状況。

学習センターの跡地に公園を移設し、駅前には、活性化につながる総合施設をつくれたらいいのではないかと。

井上：

以前シビックセンター構想が出され、専門家調査も行っている。その調査を無駄にしないように提言していきたい。

部会員：

調査では、商店街の問題も含めて、多角的に触れられている。ぜひ、協議会では活用してほしい。再開発から10年、調査から7年経っているが、抱えている問題を考えた跡地利用にしていきたい。

鳥淵 座長：

公園周辺の跡地利用について、施政方針以外に、具体的には何も聞いていない現状。地域の要望は届けていきたい。

吉澤：

ホテルの誘致が必要。海老名・相模大野をよく利用する。新しくホールができ、280人収容だが、3月までいっぱい状況。ホテルがあり、宿泊ができ、宴会ができる。そういう場所を大和にと思う。なんで大和でできないかとも思う。

小幡：

商工会館跡地を防災倉庫にという噂が流れている。やめてほしい。周辺で事業をやっている人は、大和駅周辺がどうなるかを気にしている。プロムナードの工事の際も市から事前の説明がない。相鉄の駐車場の跡地も撤去してほしいと言われているが、具体的なところは企業秘密と言われた。リサイクルステーションの場所を借りてるが、どうしていいかわからない状況。説明も遅く、決まればパツと進める。それでみんなの協力を得られるのかと思う。

部会長として、協力できることはないかという

平成28年8月10日

思いで、今日の場合をセットした。議員の耳にも入れて、考えてもらおうという思い。みんな、街を大事にしよう、大和をなんとかしようと思っている。その思いをくみ取って、協力して取り組まない。容積率アップも一つの手段だが、いろいろなやり方がある。1階2階に店舗を入れると100増やすとか。容積率は市が決めれば、変えられる。相模原でもやっている。みんな考えて、いい方向に進めていけば、なんでもできる。

先日、担当課に街づくり条例の見直しも提言してきた。時代の変化に追いついていく。情報を入力したら、市は協議して、方向性を示していかないと、街も古びてしまう。活性化して、明るい街を目指していきたい。

菊地：

商工会議所跡地には、宴会場のあるホテルの誘致が理想なのか。

部会員：

前回の意見交換会でも、ホテルという意見が多く出ている。予算もかかることなので、補助金対象になるようなまちづくりになれば。市長も困惑している駅周辺の問題も解決していきたい。相鉄の延伸が進む中で、海老名よりも先に手を打つ必要があった。

岸：

ホテルが最適ではあると思うが、ホテルにこだわらず、どうするかというところをきちんと議論する場をつくって、活かしてほしい。生涯学習センターがなくなると、自治会も総会を開くにも場所がない。200人くらい集まれる場所が。今までも学習センターを取るのにも苦労があった。大きな会場は数がないので、今後も会場が取れないという事態になっていくだろう。地域の人達のことを考えて計画を立ててほしい。

国兼：

コンベンションホールのあるホテルという構想があれば、YAMATO文化森で公演する楽団等が昼夜公演の際に、泊まってもらえるような構想があるのかということ、委員会等で質問していきたい。

鳥淵 座長：

8月からインターネットで施設の予約が始まっている。自治会館の整備については、補助を出すことになっている。詳しい説明を求めていく。前半部分でもあったが、環境建設常任委員会の委員以外もこのことへの関心が高く、議会で質問している。今日の意見を取り入れて、前向きに取り組んでいきたい。

赤嶺：

今日の意見が、部会・商店街・自治体の総意なのか。それが一本化されれば、大きなエネルギーになる。商店街や地域の活性化案も広く関係者が意見を交わす協議会が作られれば、目標をつくって、行政も足並みをそろえていく必要がある。意見がまとまらないまま、個別に駅前の活性化を論じると、実行の壁になってしまうのではないか。

また、文化ホールの開設、やまと公園、商工会議所の跡地に関して、これをどう活性化につなげるかが重要。オープンがそのまま活性化につながるわけでない。利用者が来て、人が増えるには違いないが、それを活性化につなげていくかはまだ議論の余地がある。皆さんの意見を聞いた上で一緒にがんばっていきたい。

岸：

芸術文化ホールが出来て、プロムナードが拡幅されるだけでいいのか。銀座通・昭和通商店街、天満宮通りの道幅など、周辺の整備を進めてほしいというのが、一義的な課題であり、要望。人が歩けるよう歩きやすいようにしてほしいというのが思い。

平成28年8月10日

原：

まちづくりに関すること。芸術文化ホールができておしまいではないのは事実。人が集まるまちづくりをすることと、将来展望も含めて、委員会から市に対してビジョンを求めてほしい。まちづくりの活力・再生の協議会づくりにむけて、一步を踏み出してほしい。

公園の跡地利用は、人が集まる街づくりにつながる。プロムナードの活用に、ペDESTリアンデッキをなぜ使わないのかと思う。ペDESTリアンデッキはこの間成長している街で取り入れられている。動線が増えることがメリットになる。将来的に、商店街が活かせるよう行政がイニシアチブを発揮してほしい。

鳥淵 座長：

ペDESTリアンデッキは、前回の意見交換会でも出され、議会でも提案させてもらっている。前向きに受け止めていきたい。

日程4. その他

小幡：

相鉄ローゼンが売られて、マンションになる。ホンダ跡地がローゼンになるという噂。その屋上駐車場になり、現在の相鉄駐車場も何かをつくる計画がある。行政や企業、相鉄がバラバラに進めてまちづくりになるのかという懸念がある。相鉄が大きな開発をするときは、市に相談に来ているはず。勝手に進めることはないはずだから、抑止する必要はないけど、方向性をきちんと示さないといけない。変な噂ばかり流れる。大手チェーン店が出てきても「自分たちの勝手じゃないか」と商店街に加盟せず、商店街の概念も弱められている。このままでは成り行かなくなってしまう。商店街を無くすという判断も必要かもしれない。YAMATO文化森のオープンに向けて、商店街の名前を変えるような話もあった。

この間、YAMATO文化森を活性化の力にするために、商店街の役員会も開いてきた。意見の

取りまとめはなかなか難しい。けれど、今日の参加者は、自治会や商店街でも役に就いていて、いろんな意見を聞いている。それを持ち寄って発言している。協議にいかしてほしい。

鳥淵 座長：

活発な意見交換会だった。以上で本日の議題終了する。